

2015 年度事業計画

活動3年目を迎える本年度、質・量ともにより一層の発展をめざして、以下のおもな事業を実施と、認定NPO法人認可にかかる運営事務を取り組んでいきます

1. 食品提供サービス事業

- ① 社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体等への食材提供サービス事業に取り組みます。
- ② 食の足りていない人たちの発見ならびに契約施設・団体の食品ニーズと提供食品をマッチングさせるための調査に取り組みます。
- ③ 生活困窮者自立支援相談窓口などと連携し、個人への食品提供事業に取り組みます
- ④ 夜間中学校の補食給食への食品提供サービス事業に取り組みます。

2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 食品関連業者等から余剰食材回収サービス事業に取り組みます。とくに個人への食品提供事業を進めるにあたり、ニーズにあった食品の確保につとめます
- ② 2014年度に食品を提供していただいた企業(団体)等に対して2014年度事業報告をおこない、引き続いての協力依頼に取り組みます。
- ③ 個人支援向け食品回収事業として、フードドライブを実施します。具体的に食品提供先との連携、各種イベントへの参加をおこないます。

3. 会員とボランティア

- ① 会員の拡大に取り組みます。2014年度の会員は、個人正会員14名、賛助会員1名でした。とくに2015年度は、正会員の拡大と合わせて、フードバンク活動に賛同する賛助会員の入会促進に積極的に取り組んでいきます。
- ② ボランティア登録の拡大に取り組みます。
- ③ 「百聞は一見にしかず」、フードバンク活動は実際に参加することで社会貢献に携わっていることを実感できる活動です。ボランティアとして日常生活で接する機会の少ない施設・団体をまわり、そこで元気に働く職員・入所者の人たちと接し、「ありがとう」の言葉と「元気」をいただけてきます。そのように互いを支えあうことが体験できるボランティア体験デーを実施してきました。2015年度は、新たなボランティアデーの実施に向け検討をすすめます。具体的に昨年度より実施のボラ

ンティア体験デーに参加いただいた方や、土曜日のボランティアを希望された方、食品寄贈元企業などへ参加を呼びかけ実施します。

4. 広報活動

- ① ホームページのリニューアルと充実をめざします。日常の活動報告を含めたフードバンクにかかわるさまざまな情報を発信し、活動への理解が深められるように努めていきます。
- ② 『ふーどばんく OSAKA 通信』の発行に取り組みます。ホームページの充実と合わせて、フードバンクにかかわるさまざまな情報を発信し、活動への理解が深められるように努めていきます。
- ③ フードバンクにかかわる研修の受け入れや講演活動に取り組みます。この活動は、あわせて自主財源獲得の手段の一つとして位置づけ進めていきます。
- ④ フェイスブックの活用の充実をめざします。日常の活動をできる限りリアルタイムに発信し、活動への理解が深められるように努めていきます。

5. その他

- ① 2015年度の事業展開に伴う人材確保として、事務局体制の充実をめざしていきます。
- ② 他のフードバンク団体との連携強化をめざしていきます。とくに、おもなフードバンク団体で構成される「セカンドハーベスト・アライアンス」への参加準備を具体的に進めていきます。